

## 授業実践（9）小学校5年生「手品師」

1 主題名 情けは人のためならず【内容項目A-(2)正直、誠実】

2 教材名 「手品師」(『5年生の道徳』ぶんけい)

3 教材のあらすじ

売れない手品師が男の子に手品を見せる約束をした後、友人から同じ日に大舞台のマジックショーへの出演依頼を持ち掛けられる。手品師はマジックショーへの出演を断り、男の子に手品を見せる方を選択する。自分にとって大切なことは何か、決心するまでの葛藤を感じ取ることができる資料である。

4 ねらい

夢、男の子との約束、どちらをとるかという手品師の心の葛藤について考えることにより、自己利益を超えたすがすがしい心を感じ、自分もそんな心をもって行動したいという実践意欲をもたせる。

5 展開

段階	学習活動 ◆主な手立て	主な発問(○) 児童の発言(・) 補助発問(●)
自己を見つめる	<p>1 前時までに考えてきたことを振り返る。</p> <p>◆手品師と男の子の立場を理解させるために前時までに2時間の授業を仕組む。</p> <p>◆振り返らせるため、その映像を見せる。</p>	<p>●先週と先々週の道徳の時間に「独りぼっちな寂しさ」と「夢をもつことの大切さ」について学習したけど、覚えていますか。</p> <p>・はい。</p> 
	<p>2 資料「手品師」を読んで考える。</p> <p>◆全体話し合い形式をとるため電子黒板を活用した資料の提示、発問の提示を行う。</p> <p>◆一番意識させるために、めあてとして提示する。</p> <p>(1) 手品師と男の子の生活について</p> <p>◆めあてを追求していくために二人の生活や立場について押さえておく。</p>	<p>●みんなが一番気になる話の内容はどこでした。</p> <p>・夢を選ばないで、男の子との約束を選んだところ。</p> <p>●たった一人の男の子のために夢をあきらめるの？</p> <p>・う～ん。</p> <p>●手品師には夢を選ばなかった理由が何かありそうだね。</p> <p>・はい。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px 0;">手品師はどんな心を大切にしたらだろう</div> <p>○手品師と男の子はどのような生活をしていましたか。</p> <p>・手品師はパンも買えないほど貧しいが、夢を大切にしている。</p> <p>・男の子は家族が誰もいなくて独りぼっちなで過ごしている。</p> <p>○明日の約束をした時、2人はどんな気持ちだったでしょうか。</p> <p>・手品師はひまだし行ってやろう。</p> <p>・男の子は<u>とっても楽し</u>みだ。</p> <p>●手品師と男の子の気持ちや起こりえることを考えていくと、めあての答えが見えそうだね。</p>

自己を見つめる

自己の考えを広げ、深める

(2) 手品師と男の子の気持ちと起こり得ることについて

【書く活動①】

- ◆二人の気持ちや起こり得ることを可視化しやすくするためにウェビングを活用する。

【話し合い】  
グループ

↓  
全体

- ◆手品師の思いや葛藤を共有するために、担任が児童の意見をウェビングでつなげていく。
- ◆良き方(黄)に進むこと、悪き方(青)に進むことをはっきりと可視化できるように、その色を児童に尋ねながら色分けする。

○男の子に披露する場合、手品師と男の子の気持ちや二人に起こり得ることは。

手品師：・見てもらって嬉しい・ずっと売れない

男の子：・嬉しい・独りぼっちじゃない

○マジックショーに出演する場合、手品師と男の子の気持ちや二人に起こり得ることは。

手品師：・男の子に見せたかった・夢が叶う

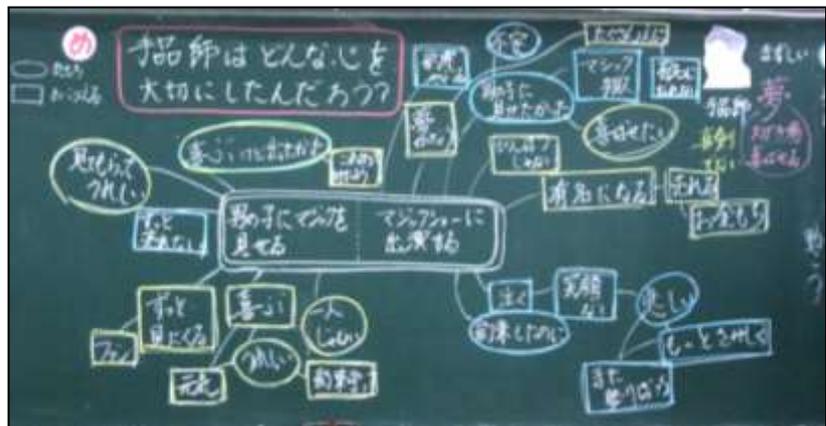
男の子：・悲しい・また独りぼっち



- 自分が考えたウェビングを使って、グループで意見交流してください。全員の意見を聞いた後に、いいなと感じたことは赤で付け加えをしてください。



- 全員に発言してもらいますね。言い足りなかったら、最後に言ってもらいますね。



- 手品師は、男の子と約束した初めは「どうせひまだから行ってやろう」と考えていたんだよね。
- じゃあ、手品師はこのウェビングの中のどの部分を特に考えて真剣に男の子を選んだんだろうね。これは個人で違っていいよ。
  - ・男の子がまた独りぼっちになるから。
  - ・約束は約束だから。
  - ・マジックショーに出ても有名になるとは限らないから。

1じつならのまごころをかんねん	<p>3 自己を振り返る。 【書く活動②】</p> <p>◆めあてとして提示した問題を解決させるための場を設ける。</p> <p>4 今後に向けて考える。 【書く活動②】</p> <p>◆この学習を通して、これまでの自分の生活を振り返らせ、今後の新たな自分の生活につなげるために記述させる。</p>	<p>○手品師が男の子にマジックを見せにいったのはどんな心を大切にしましたからでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・男の子をまた独りにしないで喜んでもらいたい気持ち。</li> <li>・裏切らない気持ち。</li> <li>・男の子に手品を見せたい気持ち。</li> <li>・男の子が元気になる心。</li> <li>・男の子が喜ぶ気持ち。</li> </ul> <p>●これまでの自分を振り返って、これからどのように過ごしていきたいかを書いてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで私は、人の喜んでもらえる顔を想像して、どんな気持ちかな?とか、あまり考えたことはなかったのですが、これからは、喜んでもらう顔やどんな気持ちになるかななどを考えていきたいです。</li> <li>・これまでだったら私は、自分のことを優先して約束を破っていたかもしれないけど、私も手品師のように約束を大事にしていきたいです。</li> <li>・これまで簡単に約束を破ったりしていたけど、これからは約束を破らないようにしたいです。</li> <li>・約束は絶対に破ってはいけないということが分かりました。これから約束したことは破らないようにします。</li> </ul>
-----------------	---	--

#### [授業のまとめ]

- 「自己を見つめることができたか」について
  - ・本時の前に、教材「手品師」の登場人物の生き方に関わる「夢への探求(1時目)」と「ひとりぼっちの寂しさ(2時目)」を道徳の授業で実施しました。児童一人一人が夢をもつことの大切さや夢をもたないことの寂しさ等に気づき、自分もひとりぼっちになったことがある経験を振り返ることができました。そのため、教材中の手品師と男の子の気持ちに寄り添うことができました。
  - ・学級経営で一番困っていることや児童のこの部分の心を特に育みたいという授業では、1単位の授業の構成も工夫をしていくとよいということが分かったので、年間指導計画の授業構成の変更や入れ替えは大切であると感じました。
- 「自己の考えを広げ、深めることができたか」について
  - ・もしも手品師がマジックショーを選んでいたら、男の子と手品師はどう思うのか、また二人に今後起こり得ることはどんなことか、2つの予想される未来について考えさせました。教材には載っていない真逆の行為を対比して考えさせることにより、登場人物が男の子にマジックショーを見せた手品師の真の気持ちを様々な角度で考え、広げ、深めることができました。
  - ・「手品師」は、手品師の真の気持ちを捉えるのが難しい教材だと考え、この実践を行いました。真逆の行為を対比させなくても、教材通りの行為をウェビング化することで、多面的・多角的に考え、広げ、深める授業もできると考えます。
- 「これからの自己を考えることができたか」について
  - ・大半の児童は、約束を破ったことがあるという経験をもっており、この学習を通して約束は絶対に守らなくてはいけないということに改めて気付くことができました。中には、相手の喜ぶ顔や悲しむ様子を想像することの大切さや自分のことも大切だけれど、相手のことも大切に考えていかなければならないということに気付くことができた児童も見られました。
  - ・資料の登場人物と切り離さなくても、それを1つのきっかけとして自己の生き方につなげることができると考えます。